

平成22年度体力テスト

学年	性別	握力(cm)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	10mゴール投げ(m)
男子	1年	24.66	23.96	39.39	48.37	421.47	8.48	180.72	19.21
	広島県	24.88	24.52	39.01	48.85	421.01	8.51	178.96	18.68
	福山市	24.90	23.33	37.48	47.47	431.14	8.59	177.32	18.06
	一ツ橋	28.90	28.23	40.94	52.25	445.71	8.80	181.36	20.98
	2年	30.10	27.50	43.15	51.78	391.52	7.92	196.76	21.76
	広島県	30.28	27.47	43.34	51.97	399.99	7.93	195.69	21.22
	福山市	30.25	27.16	42.42	50.45	415.10	8.03	195.80	20.73
	一ツ橋	34.41	34.79	46.23	53.38	412.58	8.24	203.16	23.29
	3年	35.46	29.49	46.79	54.62	367.71	7.53	211.42	24.41
	広島県	35.58	29.48	46.76	54.62	379.31	7.57	209.96	23.35
	福山市	35.12	28.42	44.82	52.51	402.98	7.67	207.67	22.81
	一ツ橋	38.25	36.71	51.92	54.76	393.52	7.48	219.84	26.86
女子	1年	22.08	20.25	42.04	43.96	297.31	9.03	163.29	12.76
	広島県	22.22	20.69	42.59	44.74	300.28	9.02	162.48	12.90
	福山市	21.83	19.24	40.49	42.89	310.05	9.21	159.58	12.79
	一ツ橋	24.47	25.12	46.10	48.48	284.02	8.84	168.32	14.41
	2年	23.97	23.08	43.94	45.50	285.48	8.78	169.46	13.99
	広島県	24.24	22.47	44.88	45.69	298.20	8.84	167.08	13.41
	福山市	23.57	21.29	43.36	43.62	305.73	9.04	163.08	13.64
	一ツ橋	26.16	28.34	48.01	48.30	299.85	9.46	165.48	15.39
	3年	25.33	24.00	45.93	46.58	288.35	8.72	171.47	14.71
	広島県	25.44	23.81	47.05	46.90	298.35	8.79	170.00	14.52
	福山市	24.83	22.02	44.23	44.54	312.31	8.96	165.52	14.37
	一ツ橋	28.05	34.46	53.81	51.35	293.48	8.85	179.85	16.88

全国 平成20年度平均 広島県 平成21年度平均 福山市 平成21年度平均 一ツ橋 平成22年度平均

平成22年度 研究紀要

福山市立一ツ橋中学校

考察

- 「本時のめあてはわかりやすいです。」「先生の指示や質問はわかりやすいです。」「先生の授業のポイントはわかりやすいです。」の項目の数値が、1学期と比較して、2・3年生は11月現在の方が高くなっている。授業改善を全校体制で進めていった結果として、昨年よりわかりやすい授業になったと捉える生徒が増えてきていると考える。
- 「チャイム席が守られています。」の項目の数値が、1学期と比較して、3学年とも上がっている。これは、授業への意欲が向上してきた生徒の割合が高くなってきたと考える。
- 「私は勉強ができる。」「私は運動ができる。」といった自尊感情は3学年とも数値が上がっている。このことは、学習面・生活面の両方わり、個に応じた支援や指導法を行なった結果であると考える。
- 自己効力感は全体的には下がっているが、3年生においては上がっている。これは3年生が行事等でリーダーとなり活躍してきたことや、ボランティア活動、花いっぱい運動に取り組んできたことが原因の一つと考える。
- 「学校は楽しいです。」の項目では、2・3年生で特にあがっており、研究や様々な学校を変える取り組みが進んできた結果と考える。
- 「社会的な適応能力」をはかる項目では数値が下がっている。これは、落ち着いた状況の中、自分を見つめると、「自分にはまだできていないことがある。」ということが分かってきた表れであると考えられる。

成果と課題

授業改善の取り組みを進めながら、「環境をつくる」取り組みや教職員の「共通化をはかる」体制づくりを進めてきたことで、学校が落ち着きを取り戻し、生徒が「安心・安定」して授業を受けられる環境になったこと、「授業がわかる」「学校は楽しい」等肯定的に捉える生徒が増えてきたことは成果である。しかしながら、自分から積極的に関わろうとする面や、将来の目標を持って努力するという面はまだ弱く、社会性や自己効力感を高めることができていないことは課題である。

HITOTSUBASHI ACTION 今後の方向性

- 授業改善の取り組みを継続し、共感的な学習集団づくりを進める中で、学力向上に向けて「思考力・表現力・判断力」をつける授業改善の取り組みへと進化させる。
- 生徒の「社会性」や「自己効力感」を高めるために、「キャリア教育」の推進や、スキル学習、体験活動の充実を図る。
- 生徒に望ましい生き方を身につけさせるよう、個性の伸長を図るとともに集団生活や社会生活を円滑に進めていけるような資質や能力の向上を図る生徒指導の推進を行う。
- 「環境をつくる」取り組みと、教職員の「共通化をはかる」体制づくりを継続、さらに見直し改善を図る。

〈研究主題〉

平成21・22年度 広島県発達障害授業改善推進事業指定校
◆発達障害があると思われる生徒にとって
わかりやすい授業の創造

平成20・21・22年度 福山市教育研究支援事業(保健体育)指定校
◆基礎学力の充実と言語活動の充実をめざして

平成22年11月26日(金)

経営構想図

ミッション
すべての子どもたちに次代を担う力としての人間力を育むため、自律的に改善・挑戦し続ける創造的な教育活動を行うなかで、保護者、地域の信頼に応えきる学校づくりをめざす。

ビジョン

- 安心・安全な学校
- 元気で活力あふれる学校
- 信頼関係を大切にする学校
- 環境(人・物・指導・情報)を大切にする学校

昨年度	本年度	1年後	2年後
変化に追われる学校 REACTIVE	変化を予測できる学校 PROACTIVE	変化を創造できる学校 CREATIVE	
	安心して過ごせる学校	所属感がもてる学校	互いが認め合える学校

一ツ橋スタイル



目指す生徒像
未来を見つめてあすを描き創る生徒

- 夢や目標の達成に向け努力することを惜しまない
- 何事にも挑戦する意欲と行動力をもっている
- 人とのかわり合いを大切にすることができる
- 場に応じた発言や行動をとることができる

重点目標

- ① 開発的生徒指導の充実
- ② 環境づくりの推進
- ③ キャリア教育の充実
- ④ 危機管理体制の確立
- ⑤ 小中連携教育の充実
- ⑥ 地域協働教育の充実
- ⑦ OJTによる人材育成の推進

日本一宣言! 美しい環境

- チャイム席 / 生徒、教職員とも教室でチャイムを聞きます
- 環境 / 花いっぱい運動の取り組みを行います
- ボランティア活動 / 社会に貢献する心を育てます
- 家庭学習 / 自主ノートの活用を充実させます
- 学校ホームページ / 生徒の輝きを伝え、つなぐ、積極的な情報発信・情報公開を行います

HITOTSU
PL

BASHI
AN

研究構想図



共通化をはかる



授業研究

開発的生徒指導

生徒指導方針 基準の明示

全教職員の合意形成をもとに指導基準を統一し、明確な理念や方針、指導基準や校則等を外部に公開し年度当初の早い段階で、生徒及び保護者に周知を図っています

生徒指導目標の明示

毎月重点目標を設定し「5W1H」を確認して取り組んでいます。

5月8日(土)	体育大会	4	競技実施に関して妨害やいろいろなことを予測したが、大きな混乱なくスムーズに実施できた。ピアスの着用やいじり加減な行動に対して何事もやり返すことを訓した。	指示が通るまでの時間がかかると、人の話を聞く態度、集団行動の態度について課題が残る。
---------	------	---	------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

■5月の取り組み計画
5月、これだけは全教職員で徹底してやりきる。
→授業妨害の阻止、上履きの徹底

中学校生活についてのナビゲーションブックの活用

中学生活の手引き書を活用して、年度当初にガイダンスを充実させます。



中学生活の手引き「わんナビ」

生徒会月間目標の明示

発達段階に応じて到達目標を明確にして取り組んでいます。



月	目標
4月	大きなあいさつしよう
5月	全員・全力を出し切ろう
6月	学習と部活を両立させよう
7-8月	時間を守り規則正しい生活をしよう
9月	気持ちのいいあいさつ・返事をしよう
10月	時間いっぱい掃除をしよう
11月	授業で挨拶・発表をしよう
12月	自ら挨拶をしよう

校区小中連携デザインの策定

発達段階に応じて到達目標を明確にして取り組んでいます。

一ツ橋校区「家での約束」の策定・明示

校区内で共通目標を設定しリーフレットを各家庭に配布して共に取り組んでいます。



家での約束リーフレット

収納基準の明示

■教室のロッカー収納表示



校舎内へのポスター掲示



キーワード	小学校(1年後の目指す児童の姿)		
	低学年	中学年	高学年
学習のきまり	45分間席に座ることができる	相手の反応を見ながら発表できる	相手の理解度を確かめながら発表できる
ノート	学習課題(めあて)明日の連絡を丁寧に最後まで書く	図や絵などを使って分かりやすく丁寧に書く	キーワード、気付きなどを記入し、自分の考えを効果的に書く
読書	月6冊以上	月300ページ以上	月500ページ以上

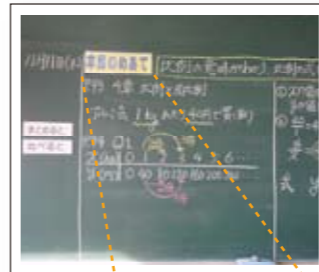
研究の視点と授業

4つの視点

「本時のめあて」の掲示

キーワードは

- ★生徒にわかりやすいことばで
- ★具体的な目標となることばで
- ★全教職員で全授業で



- 「○○することを通して○○○○ができる」
- 「○○することを通して○○○○がわかる」
- 「○○することを通して○○○○ができるようになる」

(例)「平家物語を音読することを通して、古典独自のリズムを感じることができるようになる」「因数分解をすることで、2次方程式を解くことができる。」
※「本時のめあて」を書く静かな時間の確保により、本時の授業への集中と意欲を高める

明確な発問・指示

キーワードは

- ★指示は一文で、なるべく繰り返さない
- ★生徒の動きを確認しながら、次の指示



(例)「教科書を出しましょう」「28ページを開きなさい」「問2をノートにうつしましょう」

構造的な板書(黒板の構造化)

キーワードは

- ★黒板の等分化
- ★カード・図・実物の掲示、「今日のポイント」シート活用
- ★効果的な色チョークの使い方とノート指導

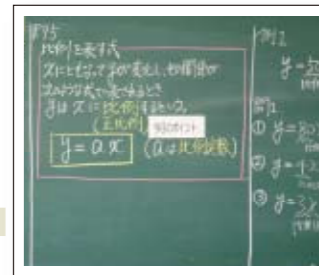


重要な用語・式、ポイントとなる内容は、色チョークで書く、囲む、下線を引く(年度当初から、色チョークは重要事項ということを印象付ける)。
落ち着いて丁寧にノートが書けるように、ノートに書く時間を確保。

思考力・判断力・表現力を育てることばの教育

キーワードは

- ★「結論先行・理由をつけて」発表の型の掲示と活用
- ★マグネットシートの活用



今日のポイント
比べると
まとめると

(例)「私は○○だと思います。理由は△△だからです。」
●型を表示 ●マグネットシートのことばを使った発表
※教室前面の掲示は、生徒が授業(黒板)に集中できるように最小限に

研究経過

年	月	内容	年	月	内容
H21	7月	事業計画策定	H22	3月	年間反省、次年度の方向性について
	8月	校内研修(研究の方向性、研究計画の確認)		4月	本年度の研究計画策定、校内研修(研究計画の確認)
	9月	校内研修(理論研修:わかる授業の基本について)		5月	校内研修(指導案の書き方)
	10月26・27日	校内研修(授業観察、佐藤慎二先生を招いて(発達障害とは))		6月24・25日	校内研修(研究授業【全クラス】、研究協議)
	11月	指導案作成・検討		8月	校内研修(2学期校内研修と公開研究会に向けて)
H22	12月4日	中間報告会実施(研究授業【2教科】、佐藤先生講演会)	9月30日	校内研修(研究授業【3教科】、研究協議)	
	1月20・21日	校内研修(研究授業【教科】、研究協議)	10月1日		
	2月	校内研修(他校の実践に学ぶ)	11月26日	公開研究会(研究授業【全クラス】、佐藤先生講演会)	

環境をつくる(人的環境+物的環境+情報環境)

システムづくり

職場の風土改革に向けて

■新年度の校長ビジョン説明

4月1日、校長から新しい学校教育目標と新年度ビジョンが示され、全職員がスタートにあたっての決意を示します。

「ともに輝く」ことを心において頑張っていこうと思います。よろしく願います。型にはめた生徒をつくるのではなく、個性を伸ばし、一人一人に力をつけ、さらにその子どもたちのつながりを創って生きたいです。そのために子どもへの接し方も工夫をしながらいきたいです。子どもの目線に立った指導を心がけ、教師として言うべきところは言う、子どもとともに動くときはしっかりと動くようにしたいです。(男性教員)

パースデーカードの取組

職場づくりの一つとして、職員の誕生日の日、サンクスカードを贈り合う取り組みを行っています。



積極的な情報発信

ホームページの充実

「輝きの見える化・伝える化・つなぐ化」に向け、生徒の「輝き」を中心にタイムリーで新鮮な情報を積極的に発信しています

授業研究

学級・授業での約束ごとの明示

■安心・安定した気持ちですぐすために

- ★ 椅子に深くかけて背すじを伸ばしましょう
- ★ やさしくていねいな言葉をつかみましょう
- ★ 大きな音を立てないようにしましょう

■授業の約束ごと6か条

- ★ 時間を守り、チャイム席をしよう
- ★ 机の周りを整理・整頓しよう
- ★ 大きな声であいさつしよう
- ★ 人の話をしっかり聞こう
- ★ 積極的に発表しよう
- ★ ノート整理をきちんとしよう



教室前面の掲示の工夫

授業を受ける際に視覚的な刺激が和らげるように、教室前面掲示は彩度の低い色で視力シンプルに留めています。

教育目標



授業の6か条

シンプルな掲示

開発的生徒指導

集団への所属感や連帯感を高め、自主的・実践的な態度を育てる学校行事活動



部活動によるボランティア清掃・社会貢献活動

部活動ごとに、年回、校区内の公園の清掃ボランティアに取り組んでいます。毎朝、学校の玄関清掃に取り組んでいる部活動もあります。また、地域で開催される理念感の各行時には「緑の下のちから持ち」として多くの生徒が意欲的に参加をしています。



花いっぱい緑化プロジェクトの推進

生徒全員で、花と緑の美しい学校環境をつくり育てる運動を計画的にすすめています。

- ★ 1年(プランターで花を育ててお客を迎える。卒業式会場を飾って3年生を送る)
- ★ 2年(一人一鉢、教室で花を育てて職場体験学習でお世話になった事業所へ贈る)
- ★ 3年(一人一鉢、教室で花を育てて地域でお世話になったところへ贈る)
- ★ ガーデニング部(ばら園をはじめとするすべての花壇の花を育てる)



▲ 正門脇の水やり



▲ 学校技術員さんの指導で土づくり

心を耕し育てる体験活動

各学年では体験活動を基底としたキャリア教育をすすめています。

■(1年)

マナー体験学習・自然体験学習



▲ 自然体験合宿(4月)

■(2年)

職場体験学習・体験型修学旅行



▲ 修学旅行

■(3年)

地域貢献活動



▲ 保育園でのかかわり体験

道徳朝会

寸劇等を使って集団の中でのルールについてかんがえさせたり生徒相互の人間関係を広めることを通して道徳的心情を培う道徳朝会を毎月行っています。



▲ 教師と生徒による寸劇

和文化体験講座

地域の方を講師に招いて茶道の連続講座を開設しています。今後、能、囲碁、箏曲、書道、生け花等の和文化講座の開設を予定しています(茶道は生徒に大人気の講座です)



ライフスキル学習

発達段階に応じて、日常生活で起こるさまざまな問題に対し自分で考え解決していく力を育てるライフスキル学習に総合の時間で取り組んでいます。講師:山陽学園短期大学 准教授 富岡美佳先生



ライフスキルとは

日常生活でおこるさまざまな問題に自分で考え解決していく力

- コミュニケーションスキル
- 目標設定スキル
- 対人関係スキル
- 情報対応スキル
- クリエイティブ志向
- 意思決定スキル
- 共感性スキル
- 創造的志向スキル
- ストレス対応スキル

セルフエスティーム

ライフスキル習得のための技法として

- ・ブレインストーミング
- ・ロールプレイ
- ・グループビング
- ・アイスブレイキング
- ・チーム活動

生徒会活動の充実

■月刊目標をもとにした各種委員会の連携した活動

- ・学級委員会 : あいさつ標語募集
- ・図書広報委員会: 新聞発行「先生のお薦め本特集」
- ・生活安全委員会: 花を大切に育てるキャンペーン
- ・保健委員会 : 健康生活アンケート

■あいさつ運動

毎朝、保護者や地域の方々と一緒に大きな声であいさつを交わります。



■エコキャップ運動

社会へこけんする活動の一つとしてエコキャップ運動を全校で進めています。



小・中学校間の連携

■主任連携

毎月、校区内の小・中学校の主任(教務・生徒指導)による連携会を行っています。校内研修(引きの小学校・長浜小学校・手城小学校)へ参加、本校の取組み(授業改善・生徒指導)を説明、「一ツ橋中学校小中推進デザイン」作成にあたり、小学校の取組み等、意見交流をはかる。



■校区内小学校の校内研修へ参加し、中学校の授業研究の視点を伝えました。

「一ツ橋中学校区小中推進デザイン」のように、小学校から中学校までを見通しためざす児童の姿を明確にすることが大切だと思う。その目標に向かって、中学校と共通認識をもって、本校での取り組みを具体化していきたい。また、めあての提示等、共通の取り組みを設けることで、児童から生徒への移行が円滑になり、基礎学力の確実な定着や精神面の安定につながると思う。これからも、取り組みの交流の機会をもっていきたい。

■校区内への出前授業

■校区内小学校への部活動技術指導

中学生が小学校に出向いて部活動の技術指導を行う異年齢交流を行っています。



■オープンスクールの実施

オープンスクールでは児童が中学校の授業体験と部活動体験を行います。



中学・高校間の連携

3年生徒、保護者を対象とした高校校長による進路に係わる講演会を行っています

PTA活動の中で

生徒指導主事が講師となり思春期の子どものかかわり方について研修をしています。



校内の環境づくり

・廊下掲示物の工夫
・学級掲示物の工夫
・学級への花(一人一鉢)の設置

